

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	3				
事業名	「阿波藍」を活用した観光交流資源魅力化プロジェクト							
目的	藍染め普及事業、阿波藍復興事業の中核施設として、地域おこし協力隊による藍関連技術者の養成拠点とするとともにすくも製造工程の見学や藍染め体験等の体験型観光が実施できる「(仮称)勝瑞藍工房本館」を新築する。							
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生拠点整備交付金事業】 1) 敷地造成(効果促進事業) 2) 本館整備(施設整備事業) 3) 駐車場整備(効果促進事業)							
重要業績評価指標(KPI)	指標		開始前	2020	2021	2022	2023	2024
	販売額 (単位:千円)	目標	0	0	1,250	2,000	2,750	3,500
		実績		0				
	すくも生産量 (単位:kg)	目標	1,400	1,700	2,200	2,700	3,200	3,700
		実績		1,400	1,700			
	交流人口 (単位:人)	目標	0	0	2,400	2,800	3,200	3,600
実績		0		0				
達成度	A: 達成		B: 概ね達成		C: 未達成			

【事業費と財源内訳】

(単位:円)

2020年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	80,375,000	80,306,782	40,153,391	事業費の1/2

【2020年度の取組と課題】

敷地造成、本館整備、駐車場整備の順に事業を進め、2021年3月に全体が竣工した。前年度に整備した寝床・染場・乾燥場と本館を一体として「あいずみ藍工房」とし、藍関連事業の拠点として「阿波藍の里」としての本町の魅力向上を図っていく。

【今後の取組】

- 藍栽培・すくも製造・藍建て・藍染
地域おこし協力隊制度を活用しつつ、引き続き藍栽培から藍染までを町内で行っていく。
- あいずみ藍工房の活用
地域おこし協力隊の活動報告としての作品展示やワークショップ開催等により町内外に阿波藍をPRしていく。また、作業工程の見学や体験等について検討していく。

※藍住町地方創生推進会議の意見

- 地域おこし協力隊の活動支援をはじめあいずみ藍工房の活用、運営を協議していく「あいずみ藍工房運営活用協議会」(案)の設置を望みます。